



縄文時代から私達日本人に身近な魚ウナギ。
しかしその生態は謎に包まれ、アリストテレスをして
泥の中から自然発生すると言わしめた程。

福岡市内の川にすむウナギも2500km以上離れた
はるか南の海に出かけて行って産卵します。

そして、その場所が明らかになったのはほんの数年前なのです。
今回は謎に包まれたウナギの産卵に迫ります！

- <日 時> 平成29年5月26日(金) 19:00~21:00 (18:45開場)
 <会 場> BIZCOLI 交流ラウンジ (福岡市中央区渡辺通2丁目1-82 電気ビル共創館)
 <対 象> みなさま ※特に知識などは必要ありません。気軽にご参加下さい
 <参加費> 500円
 <定 員> 40名 (定員になり次第締め切り)
 <主 催> 公益財団法人九州経済調査協会 BIZCOLI
 <企 画> サイエンスパークふくおか
 <協 力> 九州大学 素粒子実験研究室 <後 援> 福岡県

<講師>

望岡 典隆 准教授

九州大学大学院 農学研究院 資源生物科学部門



高校1年の現代国語の教科書にその一部が掲載された「稚魚をもとめて」（岩波新書）に感動し、その日の下校時に購入、登下校の電車のなかで繰り返し読みました。この本に出会わなかったら水産に進んでいなかったと思います。卒論研究でアナゴ、ハモ、ウナギ類の幼生の奇妙な形態にとりつかれ、長くて美味しい魚の初期生活史の研究はライフワークとなりました。1cmに満たないニホンウナギの赤ちゃんを発見したときの興奮は昨日のこのように思い出されます。なお、前述の「稚魚をもとめて」の著者内田恵太郎博士は私が所属する研究室の初代教授です。

<お申し込み方法>

下記を記入しFAX（092-721-4908）いただくか、
BIZCOLIのHP（<http://www.bizcoli.jp>）のフォームからお申込ください。

お名前 :

住所 :

電話番号 :

メール :

<お問合せ先>

・お申し込みに関するお問い合わせ

九州経済調査協会・BIZCOLI 担当 瀬口・杉本
福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館3F
電話：092-721-4909 / FAX：092-721-4908

・サイエンスカフェに関するお問い合わせ

九州大学素粒子実験研究室 吉岡瑞樹
福岡市西区元岡744
電話：092-802-4057

<アクセス>

西鉄電車：西鉄天神大牟田線「薬院駅」より徒歩5分

西鉄バス：「博多駅前A番」停留所より乗車→「渡辺通1丁目」停留所
降車すぐ
「天神大丸前4C」停留所より乗車→「渡辺通1丁目」停留所
降車すぐ

タクシー：JR博多駅より7分、福岡空港より25分

地下鉄：七隈線「渡辺通駅」降車(電気ビル本館B2Fへ直結)

